

田中康夫「両首脳を空港で迎えよ」

鋭い政治感覚の新党日本、田中康夫代表が24日、指摘した。

「21日午前に韓国の李明博大統領、中国の温家宝首相が相次いで仙台空港に到着した。なぜ、菅直人首相は空港に出迎え、一緒に被災地の現場を案内しなかったのか」この午前中、菅首相は特に日程はなく、昼過ぎの新幹線で東京駅発、2時前に福島に到着し、福島市のあづま総合体育館で両首脳と合流した。

菅首相は、福島で日中韓のサミットをやりたかった。「日本の安全性をアピールするよい機会だ」というわけ。しかし、中韓は嫌がって拒否し、わずか20分程度の体育館での慰問だった。

なぜ、中韓は福島でのサミットを拒否したのか。政府関係者の話。「放射能汚染への警戒だ。中国の首相警護官はガイガーカウンター持参で、方々で測定していた」

しかし、出された野菜は食べた。「きゅうり、トマト、さくらんぼ。よく食べてくれた」でも、体育館での時間はいかにも短かった。「李大統領、温首相を置いて、菅首相が先に出ていった。ここでも、『先に帰るのか!』とヤジられた。新幹線の出発時間まで余裕があった



4218

「鈴木棟一の風雲水田町」で出迎えて同行すべきだった。なぜ、秘書官が「行くべきだ」と助言しなかったのか。菅首相の得点にもなった」

田中氏はまた、与謝野馨経済財政相が20日に、次の発言をしたのを重視した。

「今回の原発事故は『神の仕業』で、原子力事業者(東京電力)が、事故の発生原因まで責任を負うのは、あり得ない議論だ」

「自民、民主両党にかなりいる『東電族』の典型的な発言だが、田中氏が言った。

「与謝野氏は日本原子力発電の社員だった。森喜朗元首相もびっくりの『神学論』だ。いったい、八百万の神の中で、誰の仕業だと与謝野氏は説明するのか。本来なら、大々的に報じらるべき記者会見での暴言だ。にもかかわらず、発言を報じたのは、時事、産経、赤旗だけ。他のメディアは何をしていたのか」

(ジャーナリスト)

「与謝野 神の仕業は暴言」